

瀬戸川昔話7

# 「きつねのこうやく」 (その3)

再話・絵：山田辰美

「てめー、何もんだ。」  
 そう叫ぶと、いきなり刃物で切りつけた。  
 「あーっ」  
 娘は身をひるがえして逃げようとしたが、二の腕を切られてしまった。  
 「きゃいーん」  
 娘は狐だったのだ。  
 数日たった晩のこと、　　こんこん、こんこん、  
 「こーんばんは、悪いけえが」  
 聞き覚えのある声だった。  
 「この化け狐め、性懲りもなしに又来たのか。」  
 「悪気はなかったのです。堪忍してください。  
 リキさんのお陰で、母の死に水を取ることができました。」  
 「そうかい、おいらも切りつけたりして悪かったな」  
 「お願いします。私の手を返していただけませんか。」  
 「今さら腕を返してもどうにもならんら」  
 狐の話によると、一族に伝わる塗り薬を使えば、腕は元に戻ると言うのだ。  
 リキは腕と引き換えに、薬のこしらえ方を教えてもらうことにした。  
 それから間もなく、川越え衆の用いる塗り薬はよく効くと海道筋で評判になった。  
 リキは川越え人足を止めて、瀬戸川の川べりに薬屋を出したそうだ。  
 その店の看板には狐の絵が描かれ、狐の膏薬と書かれてあったということだ。  
 おしまい。



協賛各社	
黒川医院	菅ヶ谷内科医院
青島歯科医院	(株)松浦恒産
岡歯科医院	小柳津久男事務所
(有)桑原モーターズ	佐野設計工房 一級建築事務所
服部歯科医院 音羽町診療所	(株)エクノス ワタナベ
(株)山田組	大鐘測量設計(株)

**瀬戸川フォーラム 構成団体**

しずおか流域ネットワーク／志太自然ネットワーク  
 (社) 藤枝青年会議所／森林組合おおいがわ／静岡県島田土木事務所  
 瀬戸川 朝比奈川非出資漁業協同組合／ふるさと建設の会  
 大井川流域ネットワーク／志太エコクリエイト

.....

瀬戸川フォーラムのHPもご覧ください。 <http://www.ryuikinet.gr.jp/setogawa/>

瀬戸川通信 編集責任者 大井川流域ネットワーク 小田 稔彦  
 島田市中央町3-1-0 TEL 0547-36-0706

# 瀬戸川通信 第10号

発行 瀬戸川フォーラム 平成15年3月17日



瀬戸川下流域 川除地藏、馬頭観音

## NPO法人「里の楽校」(せと川) 設立

『目的』  
 静岡県の瀬戸川水系を中心に、川とその流域に展開する自然と文化の豊かさを生かした、自然体験活動による子どもたちへの環境教育と、その指導者の育成を行うとともに、異なる地域や世代間の交流を図り、川と里山の環境保全と活性化、さらに心豊かな地域社会の構築に寄与することを目的として設立しました。

『事業計画』  
 環境教育事業  
 「里の楽校」  
 リーダー養成講座  
 環境教育情報発信事業  
 アクティビティ集  
 会報の発行  
 自然環境調査



特定非営利活動法人  
 里の楽校  
 代表 山田 辰美



川は、  
 教えてくれた。





# 第4回 せと川 なるほど講座 開催

平成15年3月7日 藤枝市生涯学習センター 19:00～

## 『ごみ減量に挑戦 大井川町の実践報告』

大井川町生活環境課 平井昌信 さん



私が生まれた五十数年前は家の周りには自然がいっぱいありました。この自然環境のなかで四季を通して友達と川遊びをしたことが、楽しい思い出として今でも目に浮かびます。

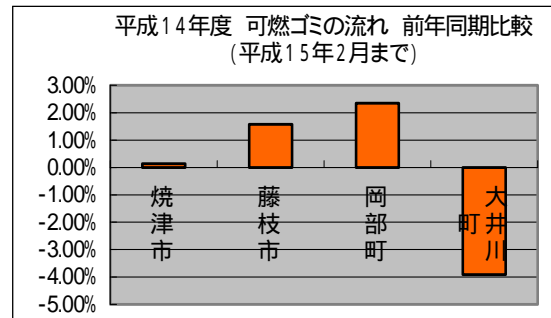
子どもの頃好んで歌った童謡で、「春の小川はさらさら行くよ 岸のすみれや蓮華の花が 姿やさしく色鮮やかに 咲けよ咲けよと囁きかける」この詩を目を閉じて口ずさむと美しい山間の小川やせせらぎの美しい風景が目に見えて来るのは私だけでしょうか、然しながら現在はどうでしょう激しく移り変わる経済社会の中で私達たちの家庭での食生活が著しく変化し、私達人間の命の源である水を変えてしまいました。その表れが現在の河川の汚れた状態です。この原因にはいろいろあります。家庭から排出される微量の油、農業用の薬品、またハウス等に使用したビニールの残骸などが川に流れ出て川や海の中で生息する生物の生態系までも変えております。一人一人の一寸した気遣いで少しでも昔の美しい川に戻すことが出来たらと思います。地球上に住む生物の命の源である水や美しい地球環境を孫子の代まで残してやりたいと考えます。

特に春から夏にかけての川遊びは本当に楽しく今でも鮮明に思い出として残っております。ザリガニを捕りまたフナやハヤを捕り、時には泳いだりもしたものです。また、夏の夜は蛍がたくさん乱舞していて蛍籠をもって蛍を追いかけたものです。その頃の川は澄んだ綺麗な水がたくさん流れて

大井川町は人と環境が調和するまちを確立し、豊かな自然と快適な環境を次世代に継承していくことを目指し、環境管理の国際規格「ISO14001」の認証を、H14年3月22日に取得しました。大井川町では生ゴミ処理を自治会組織の環自協で推進しています。町の生活環境課でバックアップしていて、担当者の他に3名の指導員がいます。ある町内会（約240戸）の8割くらいの家庭で杉チップ方式の生ゴミ堆肥化を実践しています。

現在、大井川町は杉チップのおかげでマイナス166.99tの数値が示されています。この数値にゴミ処理費37,100円/tで換算すると6,195,329円の処理費を浮かせたことになります。

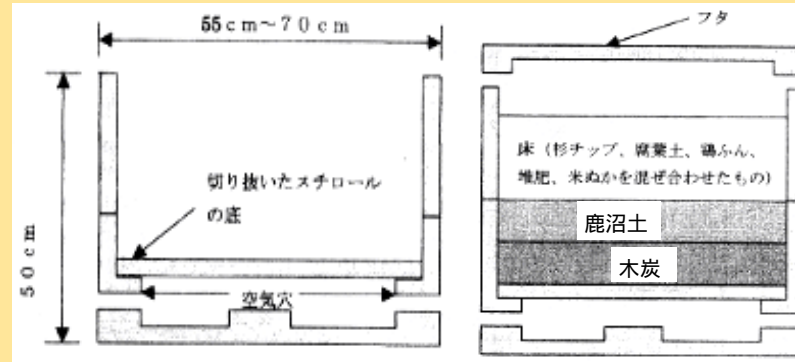
市 町	13年度	12年度	前年度比較
焼津市	29,188.57 t	26,998.85 t	2.0%増
藤枝市	27,917.41 t	27,549.82 t	1.3%増
岡部町	2,504.20 t	2,461.03 t	1.7%増
大井川町	4,619.78 t	4,607.96 t	0.26%増
計	64,229.96 t	63,212.14 t	1.31%増



### 瀬戸川フォーラムの目的

1. 流域の自然の保全と文化の振興を図る。
2. 流域を中心に活動する市民の交流をすすめ、流域の望ましい姿を考える。
3. 子供たちの健全な成長にとって重要なふるさとの自然や文化に触れる環境や機会を設ける。

## 『杉チップを利用した生ゴミ処理機の作り方』



### 1. 容器作り (外側)

- ①縦55cm~70cm、深さ約25cmのスチロールの箱を2つ用意する。
- ②スチロールの箱を2つ重ねて、合わせた部分をガムテープで張り合わせる
- ③容器の内側から2cm~3cmの所に鉛筆1本程度の穴を4面下側に2箇所ずつ（8箇所）あける。
- ④上の底の部分を切り抜き下の底に沈める

### 2. 容器作り (中身)

- ①箱の底に砕いた木炭（大きい物は砕く）を深さ5cm程度敷き詰める。
- ②炭を敷き詰めた上に鹿沼土を3cm程度入れる
- ③鹿沼土の上に「杉チップ」、「腐葉土」、「堆肥」、「鶏ふん」、「米ぬか」を次の比率で配合する  
●杉チップ 全体の1/2 ●腐葉土 全体の1/4 (約4kg) ●堆肥 全体の1/12 (約1kg) ●鶏ふん 全体の1/12 (約1.5kg) ●米ぬか 全体の1/12 (約0.5kg)  
※米ぬかはなるべく新鮮なもの
- ④上記で配合した物を容器の八分目くらいまで入れる。

### 3. 生ゴミの入れ方

- 生ゴミは水分をよくきること ○大きな生ゴミは細かく切っておく
- 容器の「床」の上側をスコップで掘り生ゴミを入れ（生ゴミ500gに対し米ぬか片手2杯をふりかけ）よくかき混ぜる。1日の生ゴミの土は1kg以内（三角コーナー 一杯程度）
- よくかき混ぜたあと、バクテリアが活動しやすいように古いシーツや毛布などで覆う
- フタがあればフタをする。（密閉せず隙間を空ける）

### 4. 容器の管理と注意事項

- 2~3日で容器内が40度~60度になり生ゴミの分解が始まる。（温度計をさしておくと良い）
- 腐葉土内に含まれるバクテリアを活性化させるため天ぷら油粕（廃油）を入れると良い
- 容器は雨が当たらない風通しの良いところ（作業場、ベランダ等）に置いてください

大井川町環境衛生自治推進協会資料より  
(事務局：生活環境課)

## 稲葉を守る女性ネットワークの皆さんによるバクテリアを使った生ゴミ処理機の製作 (地球環境に優しくゴミを減らしましょう)



昨年の新聞報道により助宗地区の2市2町ゴミ焼却場問題に直面した稲葉地区の女性達が、今自分たちに出来ることは何かと模索した結果“ゴミの減量化に取り組み”「無農薬のスクモ、ワラ、腐葉土」による生ゴミ処理機を作り普及を始めました。会員25名



代表の山田さん (右側) と佐々木さん